



2021年12月期 第1四半期 決算説明資料

2021年 5月 13日
富士ソフト 株式会社



目次

2021年12月期 第1四半期 決算

- P2. 連結業績ハイライト
- P4. 主なグループ会社売上高・営業利益
- P5. 連結セグメント別売上高・営業利益
- P6. 連結損益計算書
- P7. 連結貸借対照表
- P8. 連結キャッシュ・フロー計算書
- P9. 連結S I事業の受注高・受注残高



1.連結業績ハイライト

売上高はプロダクト・サービスおよびシステム構築分野の好調により増収

◇売上高はライセンス販売およびハードウェア製品販売を中心にプロダクト・サービスが好調に推移し、業務系分野ではシステムインフラ構築が好調に推移したことにより、前同比110.4%の65,928百万円となりました。

営業利益は増収により増益

◇営業利益は、増収により前同比103.1%の4,598百万円となりました。

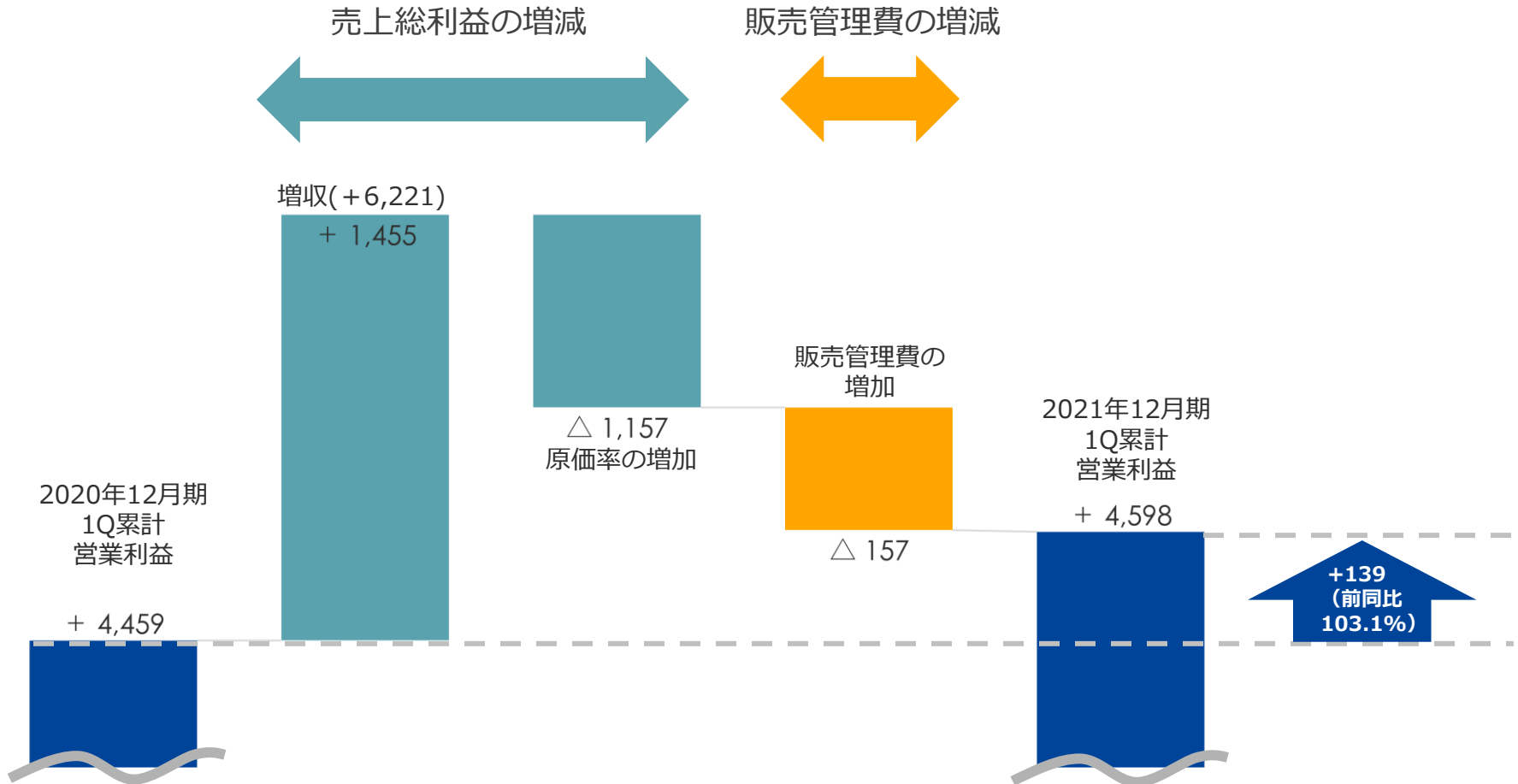
◇経常利益は、前同比113.3%の5,162百万円となりました。

◇親会社株主に帰属する四半期純利益は、前同比114.5%の2,908百万円となりました。

(単位：百万円)

	2020年12月期 1Q実績	2021年12月期 1Q実績	前同差	前同比	2021年12月期 1Q計画	計画比
売上高	59,707	65,928	+6,221	110.4%	60,000	109.9%
営業利益	4,459	4,598	+139	103.1%	4,700	97.8%
営業利益率	7.1%	7.0%			7.8%	
経常利益	4,556	5,162	+606	113.3%	4,800	107.6%
経常利益率	7.2%	7.8%			8.0%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,539	2,908	+368	114.5%	2,600	111.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益率	4.1%	4.4%			4.3%	

連結営業利益の状況 (1Q)





2.主なグループ会社売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2021年 12月期	売上高	営業利益	
富士ソフト	1Q実績	46,177	2,569	売上高は、業務系ではシステムインフラ構築や金融業向け開発、プロダクト・サービスではライセンス販売やハードウェア製品販売が好調に推移し、増収となりました。営業利益は、他社ハードウェア製品販売の増加および一過性の不採算案件の発生や、引合拡大に伴う受注体制強化のための先行人員を増加したことにより、減益となりました。
	前同差	+6,049	△ 71	
	前同比	115.1%	97.3%	
サイバネットシステム	1Q実績	5,160	651	売上高は、国内CAEソリューションサービス事業、国内ITソリューションサービス事業などが減収となりましたが、台湾、中国等の海外子会社の増収などにより、増収となりました。営業利益は増収及び経費の減少等により増益となりました。
	前同差	+41	+109	
	前同比	100.8%	120.1%	
ヴァイクス	1Q実績	7,514	790	売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響により海外売上の減少はあったものの、国内小売業におけるDXのニーズの高まりと、既存顧客への更なる深耕が奏功したことなどにより増収となりました。営業利益は、生産性の向上などにより増益となりました。
	前同差	+11	+35	
	前同比	100.2%	104.6%	
サイバーコム	1Q実績	3,717	402	売上高は、ソフトウェア開発事業における通信系開発案件が好調に推移したことに加え、サービス事業では自社プロダクトによるコールセンター構築案件が好調に推移し増収となりました。また、営業利益については増収及び経費の減少等により増益となりました。
	前同差	+233	+88	
	前同比	106.7%	128.1%	
富士ソフト サービスビューロ	1Q実績	2,148	109	売上高は、BPOサービスは官公庁、地方自治体の案件が堅調に推移し、増収となりました。コールセンターサービスは地方自治体、民間の案件が堅調に推移したものの、官公庁案件の一部終了があり、全体でも減収となりました。営業利益は、好採算となった案件が寄与し増益となりました。
	前同差	△ 136	+16	
	前同比	94.0%	117.6%	

※「2021年12月期1Q実績」欄には、各社2021年1～3月の実績を記載しています。



3.連結セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円)

	2021年12月期売上高		前同差	前同比	2021年12月期営業利益		前同差	前同比
	1Q実績	構成比			1Q実績	営業利益率		
全社計	65,928	100.0%	+6,221	110.4%	4,598	7.0%	+139	103.1%
SI事業	62,844	95.3%	+6,500	111.5%	4,432	7.1%	+191	104.5%
システム構築	35,590	54.0%	+1,031	103.0%	2,804	7.9%	△ 153	94.8%
組込系／制御系ソフトウェア	16,463	25.0%	△ 681	96.0%	1,388	8.4%	△ 303	82.1%
業務系ソフトウェア	19,127	29.0%	+1,713	109.8%	1,416	7.4%	+150	111.9%
プロダクト・サービス	27,253	41.3%	+5,469	125.1%	1,627	6.0%	+344	126.8%
プロダクト・サービス	23,858	36.2%	+5,856	132.5%	1,339	5.6%	+353	135.8%
アウトソーシング	3,395	5.1%	△ 386	89.8%	288	8.5%	△ 9	97.0%
ファシリティ事業	632	1.0%	△ 57	91.7%	139	22.0%	△ 41	77.0%
その他事業	2,451	3.7%	△ 222	91.7%	26	1.1%	△ 10	71.8%

セグメント別売上高のポイント

●組込系／制御系ソフトウェア

売上高は、社会インフラが堅調に推移したものの、自動車関連およびモバイル系の減少により、前同比96.0%の減収となりました。
営業利益は、減収により前同比82.1%と減益となりました。

●業務系ソフトウェア

売上高は、システムインフラ構築や金融業向けが好調に推移し、前同比109.8%の増収となりました。
営業利益は、増収により前同比111.9%と増益となりました。

●プロダクト・サービス

売上高は、他社ライセンスおよびハードウェア製品販売が好調に推移し、前同比132.5%と増収となりました。
営業利益は、増収により前同比135.8%と増益となりました。

●アウトソーシング

売上高は、海外顧客の店舗休業によるサービス利用料の減少等により、前同比89.8%の減収となりました。
営業利益は、減収により前同比97.0%と減益となりました。



4.連結損益計算書

(単位：百万円)

	2020年12月期	2021年12月期	前同差	前同比	2021年12月期		
	1Q実績	1Q実績			1Q計画	計画比	
売上高	59,707	65,928	+6,221	110.4%	60,000	109.9%	
売上原価	45,741	51,665	+5,923	113.0%	-	-	
売上原価率	76.6%	78.4%	①				
売上総利益	13,965	14,262	+297	102.1%	-	-	
売上総利益率	23.4%	21.6%					
販売費及び一般管理費	9,506	9,664	+157	101.7%	-	-	
販管费率	15.9%	14.7%					
営業利益	4,459	4,598	+139	103.1%	4,700	97.8%	
営業利益率	7.5%	7.0%			7.8%		
営業外収益	142	467	+325	②	328.3%	-	-
営業外費用	64	35	△ 28	55.0%	-	-	
持分法による投資損益	18	131	+113	③	718.6%	-	-
経常利益	4,556	5,162	+606	113.3%	4,800	107.6%	
経常利益率	7.6%	7.8%			8.0%		
特別利益	224	7	△ 216	3.5%	-	-	
特別損失	292	26	△ 265	9.1%	-	-	
税金等調整前当期純利益	4,487	5,143	+656	114.6%	-	-	
法人税等合計	1,388	1,614	+225	116.3%	-	-	
当期純利益	3,099	3,529	+430	113.9%	-	-	
非支配株主に帰属する四半期純利益	560	621	+61	111.0%	-	-	
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,539	2,908	+368	114.5%	2,600	111.8%	
親会社株主に帰属する四半期純利益率	4.3%	4.4%			4.3%		

損益計算書のポイント

① 売上原価率 (78.4%)

他社ハードウェア製品販売の増加や一過性の不採算案件などにより増加

② 営業外収益 (+325百万円)

円安による為替差益などにより増加

③ 持分法による投資損益 (+113百万円)

工一証券に関する持分法投資損益の増加

5.連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2020年12月期 期末	2021年12月期 1Q期末	前期末差
流動資産	105,363	114,291	+8,928
現金及び預金	38,330	43,763	+5,433 ①
受取手形及び売掛金	52,750	58,354	+5,603 ②
有価証券	6,000	5,000	△ 1,000
たな卸資産	5,526	4,686	△ 840
その他	2,756	2,487	△ 268
固定資産	129,173	129,389	+216
有形固定資産	89,928	89,707	△ 220
無形固定資産	4,705	4,716	+10
投資その他の資産	34,539	34,965	+425
資産合計	234,537	243,681	+9,144
流動負債	68,751	74,840	+6,089
支払手形及び買掛金	12,519	19,160	+6,641 ②
短期借入金	24,156	27,209	+3,052 ①
未払費用・賞与引当金	10,801	11,555	+754
未払法人税等	3,155	2,092	△ 1,063
工事損失引当金	319	245	△ 73
その他	17,799	14,577	△ 3,222
固定負債	30,623	30,184	△ 438
長期借入金	20,515	20,339	△ 176
その他	10,107	9,845	△ 262
負債合計	99,374	105,025	+5,651
純資産合計	135,163	138,656	+3,493
負債純資産合計	234,537	243,681	+9,144

貸借対照表のポイント

- ① 現金および預金 (+5,433百万円)
短期借入金 (+3,052百万円)

業容拡大による運転資金の確保

- ② 受取手形及び売掛金 (+5,603百万円)
支払手形及び買掛金 (+6,641百万円)

ハードウェア製品販売案件増による営業債権
および仕入の増加

6.連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2020年12月期 1Q実績	2021年12月期 1Q実績	前同差
営業活動によるキャッシュ・フロー	326	3,245	+2,919
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,566	△ 32	+8,534
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,929	1,807	△ 9,122
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 121	327	
現金及び現金同等物の増減額	2,568	5,347	
現金及び現金同等物の期首残高	26,158	37,450	
現金及び現金同等物の四半期残高	28,726	42,798	

キャッシュ・フローのポイント

●営業活動によるキャッシュ・フロー

当期は増収・増益に伴う入金増加により3,245百万円の収入となりました。

なお、前年に大型ライセンス調達の支出があったことや、当期に大型ハードウェア販売案件での収入があったことにより、前同差は2,919百万円の増加となりました。

●投資活動によるキャッシュ・フロー

当期は定期預金の満期払い戻しによる収入があったものの、自社製品や設備関連の投資により32百万円の支出となりました。

なお、前年にオフィスビル建設等の支出があったことにより、前同差は8,534百万円の増加となりました。

●財務活動によるキャッシュ・フロー

当期は運転資金のための借入により、1,807百万円の収入となりました。

なお、前年にオフィスビル建設等への資金調達があったことにより、前同差は9,122百万円の減少となりました。

7.連結S I事業の受注高・受注残高

(単位：百万円)

	2021年12月期 1Q実績							
	期首受注残高	前同比	受注高	前同比	売上高	前同比	期末受注残高	前同比
SI事業 合計	60,265	110.1%	64,261	105.6%	62,844	111.5%	61,681	104.1%
システム構築	35,768	102.5%	37,800	102.9%	35,590	103.0%	37,978	102.5%
組込系／制御系ソフトウェア	14,075	99.6%	16,927	95.2%	16,463	96.0%	14,539	98.5%
業務系ソフトウェア	21,693	104.5%	20,872	110.2%	19,127	109.8%	23,438	105.1%
プロダクト・サービス	24,496	123.6%	26,461	109.5%	27,253	125.1%	23,703	106.9%
プロダクト・サービス	22,412	130.8%	22,986	111.0%	23,858	132.5%	21,539	108.6%
アウトソーシング	2,084	77.7%	3,474	100.8%	3,395	89.8%	2,163	92.2%

受注高・受注残高のポイント

●システム構築分野のポイント

- ・組込系/制御系ソフトウェア
受注は、自動車関連やモバイル系の減少により、前同比95.2%となりました。また、期末受注残高は前同比98.5%となりました。
- ・業務系ソフトウェア
受注は、製造業向けが減少したものの、流通・サービスおよび官公庁向けなどが好調に推移し、前同比110.2%となりました。また、期末受注残高は、前同比105.1%となりました。

●プロダクト・サービス分野のポイント

- ・プロダクト・サービス
受注は、他社ライセンス販売およびハードウェア製品販売が好調に推移し、前同比111.0%となりました。また、期末受注残高は前同比108.6%となりました。
- ・アウトソーシング
受注は、流通業向けサービスは減少したものの、運用保守案件の増加により、前同比100.8%となりました。また、期末受注残高は前同比92.2%となりました。



※ 本資料に掲載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて合理的と判断したものです。実際の業績は市場動向、経済情勢など様々な要因の変化により大きく異なる可能性があります。

また、資料配布の目的が、当社株式の保有継続および追加購入を推奨するものではないことも、併せてご理解いただきますようお願い申し上げます。